

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

総合計画 政策の柱	市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	愛情豊かに子どもたちを育む	取組の 基本方向	「愛情豊かに子どもたちを育む」ため、子どもの社会的な養育環境を整備するための「児童健全育成環境の充実」、すべての子育て家庭が安心して子どもを育てられる環境の整備を進めるための「子育て支援の充実」、ひとり親家庭等の自立と安定した生活を確保するための「ひとり親家庭等への支援充実」、子どもの人権を尊重するための「子どもへの虐待防止対策の強化」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	家庭、地域、事業者、行政等の十分な連携のもとで、市民が安心して子どもを生み育てています。
--------------	---------------------------	----------------	---------------	-------------	--	------------------	--

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	児童健全育成環境の充実		④施策の達成状況	施策指標(単位)						達成率 (%)	
				H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標		
②施策目標	児童が自主的・主体的に活動できる環境が整い、健やかに育っています。		指標① (総合計画に基づく指標)	実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	33.3%	
③施策を取巻く環境	国・県等の動向	国において、平成22年7月に「子ども・若者ビジョン」を策定し、多様な活動機会の提供や社会への参画支援、放課後の居場所や様々な活動の場づくりを推進している。		宮っ子ステーション事業の実施箇所数(箇所)	-----	6	16	26	36		51
		核家族化や地域社会の関係の希薄化などにより、子育て環境が厳しさを増している。		地域における青少年の居場所設置箇所数(箇所)	2	3	9	17	-----		
	外部意見 その他	平成23年2月の宮っ子 子育て推進協議会において、宮っ子ステーション事業など教育委員会と市長部局とがより連携を強化して取り組む必要があるとの指摘があった。		指標②	-----	25	35	39	39		39
			指標③	-----	25	24	23	-----	59.0%		
			指標④ (特記事項)							-----	

⑤市民意識調査結果	市民の施策満足度	18.1%	市民の施策重要度	58.9%	⑥施策の評価	達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	●	達成していない (70%未満)	説明	宮っ子ステーション事業や青少年の居場所づくり事業は地域が主体となった事業であり、地域の協力が不可欠であるが、特に宮っ子ステーション事業については、目標には届いていないが、着実に実施箇所の増加が図られている。	⑦現状分析と課題の抽出 (③⑤⑥を踏まえた分析)	成果が見られる点	宮っ子ステーション事業については、単年度目標を下回るものの進展はしており、安心して子どもを養育できる環境整備が徐々に進んでいる。今後も目標値に近づけるよう、宮っ子ステーション事業の着実な推進を図る。		
						必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)	●	増加している	●	横ばい	減少している	説明		核家族化や地域社会の関係の希薄化の状況は進み、これまで以上に児童を取り巻く環境の整備が求められている。	改善の必要な点	青少年の異世代交流などを通じた人間性や社会性の向上を図るため、青少年の居場所づくり事業について、中高生がより一層利用しやすい居場所となるよう、効果的な事業のあり方を検討する必要がある。	
						適切性 (適切な事務事業の選択、実施)	●	十分である	●	不十分な事業が一部ある	●	不十分な事業が複数ある		説明	宮っ子ステーション事業及び青少年の居場所づくり事業についてさらなる推進が必要である。		
						有効性 (政策目標への効果)	●	十分である	●	やや不十分である	●	不十分である		説明	宮っ子ステーション事業や青少年の居場所づくり事業等は、地域住民が主体となって運営することから、子どもに身近な地域との関わりの中で児童育成環境の充実を図る上で効果的である。		

3 今後の取組方針

⑧取組の考え方	総論	子どもたちを地域全体で見守り、育てていくためのよりよい環境整備を推進していく必要があることから、地域の実情やニーズの把握に努め、それらの情報や意見を踏まえながら事業を精査し、子どもたちが安心して遊べる場の整備や活動環境の浄化、様々な交流機会の提供を図る。	⑨政策評価 会議意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちを地域全体で見守り、育てていくための良好な環境づくりを推進していく必要があることから、地域の実情やニーズの把握に努め、それらの意見などを踏まえながら、子どもたちが安心して遊べる場の整備や活動環境の浄化を図る。</li> <li>宮っ子ステーション事業は地域住民が主体となって運営することから、子どもに身近な地域との関わりの中で児童育成環境の充実を図る上で効果的であり、最終年度の目標達成に向けて推進を強化する。</li> <li>子どもが地域において自主的・主体的に活動できる環境をつくるため、中高生の生活や活動状況を踏まえた上で、様々な交流機会や活動機会が得られ、利用しやすい居場所の設置を促進できるよう、青少年の居場所づくり事業について、宮っ子ステーションなど対象者や手段が類似する事業との役割を再確認しながら、効果的なあり方を検討する。</li> </ul>
	重点事業	地域の教育力の向上を図るため、子どもの家留守家庭児童会が一体となった、宮っ子ステーション事業について最終年度の目標の達成に向けて、推進を強化する。		
	見直し事業	青少年の居場所づくり事業について、様々な交流機会を提供するとともに、中高生の生活や活動状況を踏まえた利用しやすい居場所の設置を促進できるよう、宮っ子ステーションなど対象者や手段が類似する事業との役割を再確認しながら、効果的なあり方を検討する。		

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H21	H22	H21	H22	重点度 (A~C) ※施策目標 に対する 寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
1	青少年の居場所づくり事業 担当課  子ども未来課	小学生・中学生・高校生	H15	地域における青少年の居場所設置数	35	39	60	1,846	A	見直し	地域における青少年の居場所は、異世代交流などを通して人間性や社会性を養う上で有効であるが、対象者や手段が類似する宮っ子ステーション事業などとの役割を再確認し、地域団体などとの連携を図りながら今後も設置促進を図る。また、広報紙や「宮っ子子育て応援ナビ」など様々な媒体を活用した効果的な広報を行うとともに、中高生の利用増加や交流、情報交換を促進する仕組みを検討する。
					24	23					
2	チビッコ広場整備事業費(単独) 担当課  子ども未来課	自治会等	S49	広場・遊具整備力所数	6	6	1,850	1,711	B	見直し (適正化・効率化)	チビッコ広場の必要性を見極めるため、自治会等へのニーズ調査を実施し、それらの意見などを踏まえながら継続や廃止の方向性を検討するとともに、継続するものについては、遊具の点検を実施し、危険度の高い遊具から必要に応じて撤去、修繕を行い、子どもたちが安全に遊べる広場環境の整備を図る。また、制度自体のあり方を再検討する。
					11	11					
3	児童遊園事業費 担当課  子ども未来課	児童(小学生以下)	S55	あそぼの家事業開催数	40	40	3,452	2,122	B	継続	児童遊園は、遊びを通して児童の健康増進と情操を豊かにするには重要であることから、指定管理者による安定的かつ効率的・効果的な運営が図られるよう、適切な助言等を行う。また、利用者のニーズ把握に努めるとともに、ニーズに応じたあそぼの家事業の実施に努める。
					43	43					

様式 2

再掲	社会体験学習推進事業		宇都宮市立中学校2年生 の生徒全員	H14	充実した体験をした生徒の割合	100.0	100.0				継続	
	担当課	学校教育課				91.0	92.6					
再掲	放課後子ども教室推進事業		児童及び地域住民	H19	宮っ子ステーション実施校区数	16	26				継続	体験活動や異年齢交流は子どもの健全育成に重要であり、また、事業を地域住民が運営することで、地域の教育力の向上が図れるため、施策目標への貢献度は高い。今後とも子どもの家等との一体的な実施を目指しながら、宮っ子ステーション事業として更に事業を推進していくこと。
	担当課	生涯学習課				9	17					
					宮っ子ステーション実施日数	574	900					
						589	1,210					
施策事業費合計						5,362	5,679					